放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 3 月 31 日

事業所名　社会福祉法人 飛山の里福祉会 はーとらんど

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員に対して、指導訓練室等のスペースは充分であるか。	1	2	2	0	・個々の特徴や行動面に配慮している。	活動的な支援プログラムを実施する時には、機能訓練室や地域交流室を使用している。
	②	利用者数に対して職員の配置数は適切であるか。	3	1	1	0	・個別対応が可能になる職員数が配置されている。	医療的ケアが児のニーズに応えるには看護師2名体制が望ましい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	4	1	0	0		完全バリアフリー化されている。
	④	建物の構造等、ハード面において当通園は閉鎖的な雰囲気を持たれていないか。	3	2	0	0	玄関から奥まった場所に部屋があるため、利用者の登園時間を把握し迅速に出迎えができるようにしている。	全職員が当園時間を把握し、迅速な対応をする。 明るくオープンな態度に心がけ対応している。
	⑤	登降園時の手順やスタッフの対応等、ソフト面において当通園は閉鎖的な雰囲気を持たれていないか。	4	1	0	0	玄関から奥まった場所に部屋があるため、利用者の降園時間を把握し迅速に出迎えができるようにしている。	全職員が当園時間を把握し、迅速な対応をする。明るくオープンな態度に心がけ対応している。保護者の室内への訪問を自由にしている。
保護者への説明・信頼関係の構築	⑥	運営規定、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	2	2	0	1	契約時に実施しているが、問い合わせがあれば、その都度説明している。	現在のところ問い合わせはないが、あった場合は丁寧な説明をしていく。
	⑦	支援の方向性と経過について、個別支援計画やモニタリング等を通じて、きちんと説明しているか。	2	1	0	2	児童発達管理責任者が個別面談を通じて実施している。	個別支援計画の手順に準じて作成から同意までをしっかり行っている。
	⑧	親御様から相談やクレームが入った場合に、キーマンとなるようなスタッフがいるか。 適切な方法で解決に努めているか。	4	1	0	0	担当者が窓口となり対応し、聴取と解決に努めている。結果を職員に報告し、共有を図っている。	職員間での問題意識の共有を図り、窓口担当者のみでの解決はしないようにしている。
	⑨	利用者本人と親御様の要望を真摯にうかがっているか。それを支援に反映しているか。	5	0	0	0	担当者が窓口となり要望を伺っている。職員間で協議の上、速やかに反映させている。	利用者・保護者⇔児童発達管理責任者⇔職員の円滑なコミュニケーションが必須のため、継続していく。
	⑩	体調の変化や事故が発生した場合に、適切なタイミングできちんと報告をしてるか。必要な場合には適切な謝罪が行われているか。	4	1	0	0	児童発達管理責任者に報告し、家族に連絡している。	事実の要点を踏まえて正しく報告・謝罪をしている。
	⑪	保護者からの信頼を得るための努力や工夫をしているか。信頼を高めていこうとする意欲がスタッフ間で共有されているか。	5	0	0	0	職員は保護者との会話の機会を多く持ち、信頼関係の基盤を作っている。	継続して保護者との会話の機会を持ち、信頼を得られるようにし信頼関係の構築に努める。
	⑫	保護者が子どもの発達に関して、気兼ねなく相談できる場になっているか。	5	0	0	0	世間話を交えた会話をすることで信頼関係を維持し、気さくに相談しやすい雰囲気づくりに努めている。	相談をしやすい雰囲気作りと、相談を受けた際には、職員は応対できるように努める。
	⑬	個人情報は適切に管理されているか。	4	1	0	0	契約時に個人情報の取り扱いの説明し、同意書に署名をいただいている。また会報等に写真や作品の掲示公開を確認している。	個人情報の取り扱いについては細心の注意を払い、適切な管理をするために、定期的にセルフ知チェックをする。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定等の情報を利用者に発信しているか。	3	1	1	0	会報等はないが、月間予定表を配布している。また行事等の写真を発行し活動の内容を伝えている。	活動に様子や活動内容の情報を継続し、内容が分かるように発信していく。
	⑮	保護者会等を開催するなどして、保護者同士の連携を支援しているか。	1	1	3	0	保護者間の関係性もあるため、あえて保護者会等は開催していない。	送迎や入室の時に一緒になった保護者どうしのコミュニケーションの仲立ちをして接点が持てるようにする。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑯	PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）のシステムが機能しているか。	1	3	1	0	問題が発生した場合には、その対応について経過を記録して検証している。	専用の書式を作成し、それに落とし込む形式にし、機能するように改善する。
	⑰	スタッフが互いの支援等をためらいなく検証し合えるようなオープンな雰囲気があるか。	2	3	0	0	支援について気付いた点は指摘し合い、改善に努めている。（一部の職員間のみ）	全体として互いに遠慮してしまっていることがあるため、職員間で話し合える環境を整えていく。
	⑱	職員の資質向上を行う為に、研修の機会を確保しているか。	1	2	2	0	事業所内での研修があまり実施できていないため、法人内研修や施設内研修に参加している。	法人内研修や施設内研修への参加は継続し、資質向上に努めていく。
	⑲	保護者向け評価表などを通して保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか。	0	4	1	0	保護者向け評価表平成29年度より実施している。	保護者向け評価表を有効に解析し、業務改善へとつなげられるようにしていく。
	⑳	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	0	2	1	2	平成29年度より公開している。	自己評価表の内容を事業所に合わせたものに作成していく。
	㉑	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	1	2	まだ実施していない。	まずは保護者からの評価と事業所の自己評価を通して、改善が図られた時点で、検討したい。
	㉒	職員の資質の向上をはかるために、研修を実践しているか。	1	1	2	1	事業所内での研修があまり実施できていないため、法人内研修や施設内研修に参加している。	法人内研修や施設内研修への参加は継続し、資質向上に努めていく。
	㉓	標準化されたアセスメントツールを活用して、子供の障がい特性、本人の性格等を客観的に把握しているか。	2	2	0	1	アセスメントシートは活用し、必要な情報は得ている。	基本情報については従来通りの書式を用い情報を得るとともに、個別に合わせた書式も用いていく必要がある。
支援の質	㉔	子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されているか。	2	1	0	2	着眼の問題点や課題だけに捉われず、本人・家族の意向や先を見据えた上で作成している。	本人・家族の意向に会った個別支援計画を作成するため、家族からの情報を得ながら作成していく。
	㉕	支援プログラム（日中活動）の意義と目的を、スタッフ間で共有したうえで実施しているか。	1	4	0	0	月間予定表を基に遊戯・創作等に分類して目的を定めて実施している。	利用者が十分に参加することができないものもあるので、利用者目線での活動を提供できるようにする。
	㉖	子どもの特性にあった、よりふさわしい支援プログラムを模索しているか。新たな支援プログラムを実施しているか。	1	3	0	1	好んで参加できるプログラムは提供している。	できることに傾きがちのため、プログラムを目的別に分類し、楽しめるように発案していく。
	㉗	今現在の対応のみに追われずに、子どもの将来を見据えて長期的な視点で支援しているか。	2	3	0	0	本人の能力（伸びしろ）を考慮しながら、どんな支援を優先すべきかを考えながら支援している。	有効なアセスメントシートを作成して、本人の状況を把握し、支援をしていく。
	㉘	保護者からの相談に対して、専門的な立場から的確に答えることが出来ているか。	2	2	0	1	その場で、明確な回答ができているかは皆無であるが、少しでも力になるようにと対応している。	専門性を高めるために、研修などに参加して専門的知識を学んでいく。また内部研修を実施し、知識を共有する。
	㉙	スタッフの振る舞いや雰囲気など、その存在自体がサービスの基本であることを自覚し、子どもが安心して快適に過ごせるよう配慮しているか。	4	1	0	0	穏やかな優しい口調で話すようにしている。また、イライラなど負の感情を出さないようにしている。	支援者としての感情のセルフコントロールは重要課題。
	㉚	子どもの人格を認め、自己決定や自己選択を促す方向で支援がされているか。	4	1	0	0	自己選択の機会を大切にし、利用者に自己決定・自己主張できる機会を大切にしている。	自己決定をしていただいているように見えても職員の誘導と思われる時もあるので、その時は職員間で確認をしていく。
	㉛	子どもが意欲的に関われる遊び等を通じて、成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育む方向で支援がされているか。	3	2	0	0	活動や個別活動を通して、達成できた時には喜びを共有するようにしている。	達成感が感じられるような活動を取り入れ、成功体験が得られるようにする。成功体験を視覚的に訴えるような方法も検討中。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の質	㉜	支援者の恣意的な価値観で、子供を一方的に従わせようとする行為がおこなわれていないか。	5	0	0	0	人格を尊重し、確認を取りながらの丁寧な対応を心がけている。職員の価値観を押し付けるような支援はしていない。	人格の尊重と受容的対応は、法人の基本方針でもあり、職員間で共有されている。抵触している場合があれば職員間で検証する。
	㉝	子どもとの良き関係性の構築に努め、他者と関わることの心地良さや楽しさを感じられる方向で、支援が行われてれているか。	5	0	0	0	個別活動や集団でのゲーム等を通じて、他者と一緒に過ごすことが楽しく快適であると実感できるように支援している。	方向性としては良いと思うが、支援の専門性の観点からは、工夫・改善の余地あり。
	㉞	支援者や友達との関わりを通して、葛藤を調整する力や自己を主張する力、折り合いをつける力が育つような方向で支援がされているか。	3	1	0	1	自己主張が安心してできるよう、言いやすい環境を整えている。	言葉で善悪を教え諭すのではなく、本人に内在する優しさや他者と仲良くしたいという思いを引き出す方向で支援していく。
	㉟	上述の支援の方向性に沿って、適切に支援が実施されているか検証し、改善するシステムが確立されているか	0	2	2	1	職員が経験と勘に頼りながら実践している。	カンファレンス等を通じて目標や課題の共有化が必要。
	㊱	医療的ケアが必要な子どもを受け入れるにあたって、医療的な知識や技術は十分か。	1	3	0	1	専任の看護師のスキルは十分にあり、安心して利用していただいている。	医療的ケアの実施は看護師だが、関わる支援員も知識として学んでおく必要がある。
関係機関との連携	㊱	相談支援センターと連携をとって、サービス等利用計画に連動した支援が実施されているか。	2	1	0	2	必要に応じて連絡を取り合って、現状の確認と課題の共有化に努めている。	連携が必須のため、今後も連携の維持に努めていく。
	㊲	子どもの様子や療育の方向性について、学校と情報共有をはかり、役割にふさわしい支援が行われているか。	1	2	1	1	学校との連携は図られておらず、情報共有の場が設けられていない。	学校との連携・情報共有はこれからの課題。
	㊳	子どもが並行して利用している訪問看護ステーションやショートステイ施設と情報交換をするなど、連携がとれているか。	1	1	2	1	今年度より一部で可能になった。初回コンタクト時には相談支援専門員に仲介していただいた。	情報交換は必要ではあるが、難しい場合は、相談支援専門員に介入してもらい連携に努めていく。
	㊴	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医や病院と連携体制を整えているか。	0	0	3	2	当通園と直接連携がとれている主治医の病院はない。	病院との直接の連携が難しいため、ご家族を介して病院から情報を得ていく。
	㊵	「来園する利用者を、利用時間だけみていれば良い」といった、自己完結的で閉鎖的な雰囲気が事業所内にないか。	3	1	0	1	児童発達管理責任者が地域の情報を伝えることで意識の改善に努めているが、現場は利用者の支援で精一杯の面がある。	地域でより良い生活を送るには、どのような福祉サービスが必要で、どのような連携が可能かを話し合うことで「地域でその子を支える」という視点が持てるようにする。
	㊶	「地域全体で子どもを支える」という視点を持って、関連する諸機関と連携を取ろうとする努力がなされているか。	2	1	0	2	児童発達管理責任者が中心となって実施している。	徐々にではあるが、連携体制は確立されつつあるので、この流れを継続して強化していきたい。
	㊷	圏域の自立支援協議会等に積極的に参加して、地域の実態やニーズの把握に努めているか。	2	0	1	2	児童発達管理責任者が参加している。	継続して参加し、関係機関との連携・情報の収集に努めていく。
非常時の対応	㊸	緊急時対応マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	0	3	2	0	施設全体ではマニュアルは揃えてある。	まずはマニュアル通りに非常時対応訓練を実施し、問題点があれば検討・改善していく。
	㊹	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	2	1	2	0	施設全体で定期的に実施している。	避難方法を想定し、災害時には迅速に避難できるように訓練の継続実施を行う。
	㊺	虐待やネグレクトを防止するためのシステムの構築など、適切な対策を実施しているか。	2	3	0	0	就業規則にも明記しており、定期的なチェックリストの記入と提出も義務付けられている。	意思表示が少なく健康状態が安定している利用者は、関わりが薄くなりがちになるため、定期的に個別活動を実施していく。
	㊻	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4	1	0	0	その都度、報告書を作成し情報を共有し、事故防止の対策をしている。	事故に至っていないため、職員で危機感の捉え方の差があるため、些細なことでも報告し、危機感を持てるようにしていく。